

会 議 記 録

次の審議会（協議会）を下記のとおり開催したので報告します。

審議会等名称	平成29年度第1回近江八幡市総合教育会議		
開催日時	平成29年4月19日（水） 15：30 ～ 17：10		
開催場所	市役所3階 市長応接室		
出席者 ※会長等◎ 副会長等○	<p>出席者（敬称略）</p> <p>市 長 富士谷英正 教育長 日岡昇 教育長職務代理者 高木敏弘 教育委員会委員 八耳哲也 同 久家昌代 同 安倍映子</p> <p>◇職務により出席したもの 総合政策部長 青木勝治 教育部長 小林一代 教育部次長 野村正 教育総務課長 秋山直人 教育総務課副主幹 武田善雄 政策推進課課長 太田明文 政策推進課課長補佐 栄畑朝夕美 政策推進課副主幹 夜野友昭 政策推進課主事 田中悠輔</p> <p>◇傍聴者 1名</p>		
次回開催予定日	未定		
問い合わせ先	所属名、担当者名 総合政策部政策推進課 田中 電話番号 0748-36-5527 メールアドレス 010202@city.omihachiman.lg.jp		
会議記録	発言記録 ・ 要約	要約 した 理由	内容を整理して、わかりやすく記録として残すため
内容	別紙のとおり		

担当課⇒総務課

司 会	1. 開会
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 傍聴の方へ遵守事項説明 ・ 会議時間の確認（1時間30分を目途に終了）
市 長	2. あいさつ
	<p>あいさつ（概要は以下の通り）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成27年度は5回会議を開催し、教育大綱の策定を中心に協議を行った。 ・ 平成28年度は4回会議を開催し、ICT教育や就学前教育などについて意見交換を行った。 ・ 今回は、今年度最終年度である教育大綱の改正に向けた手続きの進め方に関して意見を伺いたい。 ・ また、教育振興基本計画の見直し、今年度の教育行政の基本方針について、教育委員会よりご説明いただきたい。
司 会	会議資料確認 → 議事を交替 （議長の富士谷市長による議事進行）
市 長	3. 議題
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の議題確認
事 務 局	①教育振興基本計画の見直しについて
	<p>①について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の会議にて、見直しのスケジュールを確認していた。 ・ その後の経過・進捗状況について、教育委員会から説明していただく。
教育委員会事務局	資料1に基づき説明（概要は以下の通り）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料1の案については、5月中旬までを目途にパブリックコメントを行い、5月の教育委員会定例会で最終協議のうえ、策定したいと考えている。 ・ P.1には計画策定の背景、趣旨、計画の位置付けと期間について記載しており、計画については、教育大綱を実現するための計画としている。 ・ P.2～の「3. 教育大綱について」は、教育大綱の記載と同様である。 ・ P.6～最終ページまでは、16の目標とそれを実現するための施策を記載している。 ・ 教育振興基本計画の目標について、教育大綱の目標に合わせる形で変更したものとして、目標2「創意工夫し、問題解決できる力を育みます」、目標5「国際化を視野に入れた人材育成に努めます」、目標7「非行・いじめゼロを目指して、家庭や地域ぐるみで学習や啓発に努めます」が挙げられる。 ・ 特別支援教育の充実や、国際理解教育の推進、不登校児童生徒やその保護者への支援の充実等は、施策としても複数の課が取

教育委員会事務局

り組むべきものであるということから、中間評価委員会や教育委員会で検討した結果、目標16として、「個の特性に応じた教育を推進します」を追加した。

- ・ P.4 の「4. 後期目標と施策の基本方針」のところでは、「個の特性」について、学習が得意な子ども、スポーツが得意な子ども、芸術が得意な子ども等、個人の持つ能力を伸ばせる教育環境を整えることが重要だということに記載した。
- ・ 「個の特性に応じた教育を推進します」という16番目の目標の対象は子どもだけでなく、大人も含むものである。
- ・ 課題として、少子高齢化の進行や人口減少、公共施設の老朽化を挙げている。

市長

- ・ 各委員からの意見を求める

委員

- ・ 16番目の目標として、「個の特性に応じた教育を推進します」を追加したのは良いことだと思う。
- ・ インクルーシブ教育は、障がいのある子どもたちの発達を最大限に保障する学びの場を提供することが最終的な目標だと思う。
- ・ ただし、当面の目標は、障がいのある子どもと、ない子どもが、ともに学べる場を提供することであると考え。地域において、ともに生きていく力をどのように付けていくかが課題である。
- ・ 最終目標までが一足飛びになっており、段階を踏んだ表現に直した方が良いのではないか。
- ・ 県が行った教育行政の重点施策の説明会に出席した際に、キャリア教育を大上段に掲げていた。
- ・ 障がいのある子どもが、どの様に社会参加するかということを考えると、キャリア教育は重要ではないかと考える。
- ・ キャリア教育を立ち上げると、インクルーシブ教育、個の特性に応じた教育、すべてがあいまって充実していくのではないかと考える。

市長

- ・ 事務局から意見があれば、お願いしたい。

教育委員会事務局

- ・ インクルーシブ教育のところの記載については、委員の意見を踏まえて、より適切な記載にしたい。

市長

- ・ インクルーシブ教育について、「障がいのある子どもたちの発達を最大限に保障する学びの場を提供する」という目標を達成するために、どのような具体的な施策があるか考えるか。

委員

- ・ 養護学校より通常学級や支援学級等の地元の学校を希望される保護者が多い中、合理的配慮をいかにして行い、障がいのある子ども、ない子どもも双方が理解できる教育を行えるかということが大切である。

委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加えて、特別支援の教室が必要になるので、どの様に充実させていくかということを考える必要がある。
市 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の学校を希望される保護者が多い中、地元の学校にどれだけ充実した受け皿があるかという問題がある。 ・ 他に意見はあるか。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合理的配慮という言葉は抽象的かもしれないが、施策の中に入れるには、良い言葉だと思う。 ・ その上で、合理的配慮がどういったものなのかということは、障がいを持っている方それぞれによって異なる訳だから、その異なる合理的配慮を行えるようにしていく必要がある。 ・ また、医療的ケアの必要な子どもが増えている中、就学前、就学後問わず、最大限合理的な配慮を提供していくことが必要である。 ・ とともに学ぶ、多様性を認め合うということが教育において大切なことであると考えている。
市 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 養護学校と地元の学校とのどちらが子どものためになるのかという判断は、難しいことだと思うが、養護学校に行かれた方が良いと進言する場合もあるのか。
教 育 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校へ入学するとき、中学校へ入学するときに、保護者の方が市の支援委員会に相談し、支援委員会から答申を受けた市教育委員会が、養護学校がふさわしいか、支援学級の知的学級等がふさわしいかを保護者に伝える。 ・ しかし、最終的な判断は保護者が決められるというのが国の方針である。子どもにとって一番良い環境は何なのかということは、非常に難しく、最終的な判断は保護者にさせていただくことになっている。 ・ 障がいのない子どもが、障がいのある子どもと一緒にいて、共に育つという実践例はたくさんある。 ・ ただし、市民の中には、一緒に学ぶと教育がうまく進まないのではないかと懸念される方もいる。
市 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者は子どもの責任を持つ立場であり、保護者の意見は尊重される必要があるが、専門家ではない。支援委員会の意見が生かされることも大事だと思う。 ・ その辺りについての意見はあるか。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門家の意見を聞いたうえで、家庭の意見をまとめ、学校を選択されるのであるが、将来のことを考えると、この地域で、ここの地域の友達と学びたいという意見の方もいらっしゃる。 ・ 近江八幡市に専門的な支援体制が組めるかどうか、発達支援センターの充実した体制等が必要であると考えている。
市 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個に応じた合理的な配慮が必要だということである。

市長	<ul style="list-style-type: none"> • それでは、本日出た委員のみなさまの意見、事務局の意見を包含してまとめ、パブリックコメントにかけるということでまとめてよいか。
全 員	<ul style="list-style-type: none"> • 異議なし。
教育委員会事務局	<ul style="list-style-type: none"> • いただいた意見を基に、目標16の内容を修正し、パブリックコメントにかける。 • 5月の定例会で最終の策定を目指していきたいと考えている。
市長	<ul style="list-style-type: none"> • それでは、教育振興基本計画については、パブリックコメントを実施し、早急に計画を策定していただきますようお願いいたします。
②平成29年度教育行政基本方針について	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> • 今年度の教育行政基本方針、重点施策について教育長よりご報告いただく。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> • 教育行政基本方針、重点施策については報告事項となる。 • 今年度の教育行政基本方針について、4月4日火曜日に桐原コミュニティセンターにて説明会を行った。 • 今年度は、私立の就学前教育・保育施設ならびに小・中学校にも参加していただいた。 • 欠席された校園所についても訪問し、説明した。 • 教育大綱については、全戸配布したが、校園所の中には浸透していないところもあったため、説明した。 • 教育を取り巻く環境が変わってきている中、子ども達を守るためには、学校、家庭、地域が一枚岩となって取り組む必要があることを説明した。 • 各課の主要事業については、各課の課長より説明いただいた。 • 平成29年度から、幼稚園の教育要領、保育所の保育指針等が変更される。また、2020年に小学校、2021年に中学校の学習指導要領が変更される。 • 英語活動の低学年からの導入や、道徳教育の強化について、学習指導要領の変更に先立ち行っても良い旨、説明した。 • ふるさと学習、民間教育施設との交流連携、不登校児童・生徒の研究の3点を本年度の最重要課題として、説明した。
市長	<ul style="list-style-type: none"> • 本年度の進め方、事業内容について説明いただいた。 • 意見はあるか。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> • 付け加えさせていただく。 • 私立の就学前教育・保育施設に勤められている方から、時間外、土日に保育の学習等を行いたいという声があり、研修の機会を設けると大変喜ばれた。

教 育 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私立の教育者は、研修の機会が少ないので市で行う必要がある。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公立・私立を問わず教育行政基本方針の説明会に参加するというのは画期的なことだと思う。 ・ 私立の幼稚園、保育所の先生は十分な研修の機会が保障されていない。 ・ そういったことから、教育研究所が主になって研修の機会を確保し、先生方が質の高い教育を行えるようにしていく必要がある。
市 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本件は平成29年度の教育行政基本方針についての報告であった。 ・ 出された意見を参考にしながら、施策・事業に取り組んでいただきたい。
	<p>③平成29年度総合教育会議の進め方について</p> <p>④教育大綱の見直しについて</p>
市 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ ③④については、関連するので、併せて事務局から説明していただく。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料3をもとに説明 ・ 本年度の会議の進め方、総合教育会議にて意見交換するテーマ、大綱の改定スケジュール及び改定にあたっての各委員の意見の3点について、協議願いたい。 ・ 資料3の会議日程については、実際の開催時期と異なってくる可能性がある。 ・ 意見交換していただく時間を多く設けたいということから、今年度の総合教育会議は、昨年度より回数・時間を増やし、5回開催し、1回あたり、2時間としたい。 ・ 総合教育会議では、大綱の見直しだけでなく、広く教育行政について意見交換したいと考えているので、次回以降どのようなテーマで議論していくのがよいか、ご意見を頂戴したい。 ・ 大綱の見直しについては、本日の会議、意見をいただいたうえ、第2回の会議で素案を提出したい。 ・ 第2回の会議では、素案に対する意見をいただきたい。意見を基に、第3回の会議までにパブリックコメントを実施したい。 ・ 第3回の会議では、パブリックコメントの意見内容を報告のうえ、パブリックコメントを踏まえた修正案に対する意見をいただきたい。 ・ 第4回の会議では、最終案に対する意見を頂戴し、修正し、第5回の会議で最終案を了承いただけたらと考えている。 ・ 2月には改正教育大綱を発表したいと考えている。 ・ 本日の会議で話きれない意見については、資料5にご記入いただき、ご報告願いたい。

市 委 員	<ul style="list-style-type: none"> 各委員からの意見を求める。 市長部局とともに、丁寧に教育大綱を作成できたことはいれしく思う。 だからこそ、より広く深く市民の方に浸透させたい。 市の大綱なので、教育委員会の分野だけではない。 各課の中で大綱がどういう位置付けになっているか、意識をされているのか知りたい。 どこまで定着出来ているのかということを知りたい。
教 育 長	<ul style="list-style-type: none"> ゼロから教育大綱を作成したのは、近江八幡だけである。 まだまだ市民に浸透していない印象である。もっと市民に浸透してもらいたい。 見直しのスケジュール、発表の時期についても、いつが良いのか議論が必要である。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> 教育大綱は議論を尽くして制定したものである。 教育大綱は近江八幡市の教育方針の「憲法」に当たるものであり、基本理念、3つの柱、5つの視点については、簡単に変更されるものではない。 目標の追加や、表現の変更については必要であれば、行うようにすると良い。 教育大綱を制定し、3年間でどのような変化があったのか。各課の取組を検証する必要があるのではないか。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> 教育大綱は、保護者の方々にまだ浸透していないように思う。 3つの柱にあるように、親が育つためには、このような目標があり、目標を実現するために、このような取組を行っている等の説明会も必要なのではないか。
市 長	<ul style="list-style-type: none"> 教育大綱は、議論を尽くして制定したものであり、大きな変更は必要ないのではないか、また、市民に浸透することが大事なのではないかということで、みなさんの意見は一致している。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> 教育大綱にも、期間については、3年間に限定せず、総合教育会議において協議・調整を行い、適宜見直し、決定していくものとあるように、本日の意見をいただいて調整していきたいと考えている。 教育委員の皆様から意見をいただくにあたってのたたき台として、スケジュール（案）を作成したので、いただいた意見を踏まえて、改めて次回の総合教育会議にて提示したいと思う。 庁内各課の事業における教育大綱の位置付けや意識、取組を検証するという点に関しては、平成27年度に策定した当初は、あえて数値目標は入れず、教育振興基本計画に掲載されている目標、施策を遂行していきたいという思いがあった。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・このため、教育大綱の目標に向けた取組の検証は、教育振興基本計画の目標に対する点検・評価によって行われていると考えている。教育振興計画の目標を実現するために行っている各課の取組状況については、これから確認していく機会を設けていきたいと考えている。 ・庁内の周知も完全ではない部分がある。改めて周知をしていきたい
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・大綱に対する意見について、資料5に記載していただきたい。 ・制定してから、まだ2年であり、実効性があがっているか検証することは難しい。 ・会議の中で分析できるところは、していけたら良いと思う。 ・市民に対しての浸透が大事であり、どうしたら市民の間に浸透していくのかということ、これからの会議の中で、意見を頂戴しながらすすめていくと良いのではないか。 ・教育大綱の改正スケジュールは見直す必要がある。 ・教育大綱の達成度の数値化は難しいにしても検証は大事だと思う。 ・また、今後の総合教育会議のテーマについては、教育委員の皆様から意見をいただきたいと思う。 ・以上のとおりまとめさせていただいて良いか。
全員	<ul style="list-style-type: none"> ・異議なし。
	⑤その他について
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・1点協議事項があるので、教育委員会事務局よりご説明いただきたい。
教育委員会事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料6 近江八幡市小・中学校ICT教育・整備方針【案】に対してご意見を伺いたい。 ・ICT教育・整備の必要性については、昨年度、総合教育会議において確認した。 ・平成29年度は、平成30年度を目途に整備していくための準備の段階である。 ・近江八幡市小・中学校ICT教育・整備方針【案】には、教育情報化の現状と背景、本市における教育情報化の目標などを記載し、4つの観点から整備方針を記載している。 ・学校現場で、いつでもだれでもどこでも利用でき、ICTがより良い授業を実現するための一つの道具となるような整備方針にしたい。 ・本日意見をいただいたうえ、教育委員会定例会にて策定し、これから作る計画の土台としていきたい。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局から説明のあった近江八幡市小・中学校ICT教育・整備方針【案】について、意見を求める。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ I C T機器を形だけ揃えるということはやめようというのは、良いことだと思う。 ・ 最終ページの段階的整備の第1段階から第5段階のところに出来るだけ早く目標年次が入ると良いと考える。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大事なのは教職員の授業力向上だと思う。 ・ 段階的整備でいうと、第2段階がポイントだと思う。
教育委員会事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、I C T整備を進めていく中で、ご指摘いただいたところ、技術的なところも含めて調整していき、進捗については、総合教育会議にて、報告させていただく。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近江八幡市小・中学校 I C T教育・整備方針【案】についての考えは理解したので、本日の意見をふまえ、定例教育委員会にて最終決定していただくということで、まとめさせていただいてよろしいか。
全員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 異議なし。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ その他に、みなさまからご意見があれば頂戴したい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさと教育について、今年度の目標を説明したい。 ・ 今年度の「ぶらりはちまん」は、第1回には、安土町下豊浦・常楽寺界限、第2回は、武佐宿から老蘇の森までを中心に行いたい。 ・ 「ぶらりはちまん」は、先生にふるさとのことを理解してもらうために行っている。また、どうやってこれを授業に展開するかということが大切である。 ・ 個人的な提案であるが、「ふるさと教育」推進委員会（仮称）を設置したい。 ・ 「わたしたちの近江八幡」をさらに活用したい。 ・ 富士宮市が小学校・中学校が地域の方をまきこんで、富士山をテーマに勉強し、発表している事例がある。 ・ 今年度は、「ぶらりはちまん」を継続し、また、他市の良いところを勉強しながら、じっくり、ふるさと教育を進めたい。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意見を求める。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ぶらりはちまん」は校長先生もたくさん参加していただいた。意欲的に取り組んでいただきたい。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提案いただいたことの実現に向かって、皆で頑張らないといけない。

教 育 長

- ・ その他、報告したいことがある。
- ・ 小・中学校で全国学力・学習状況調査があったが、算数、数学の問題の中身がずいぶん変わってきているので、機会があれば見ていただきたい。
- ・ 八幡山交番、小学校2校、中学校2校のガラスが割られた。
- ・ 官舎の消火器を盗み、いたずらする逮捕事案があった。
- ・ 教育委員会としては、子どもたちを守る必要があり、学校とともに、更生してくれることを願っている状況である。

市 長

- ・ 更生について、どこまでが教育の中で行えるのか難しい。
- ・ 一にも二にも、家庭が大事だと思う。

事 務 局

- ・ ふるさと教育の話もあったので、一点申し上げる。
- ・ 市史の第7巻が発刊され、4月30日に文化会館で講演会があるので、お時間がある方はご参加願いたい。

4. 閉会

終了 17時10分